カザフスタン概要

(一社)ロシアNIS貿易会
2020年12月現在

1．基本情報

（１）地勢：旧ソ連中央アジアの北部、ユーラシア大陸の真ん中に位置する。国土の大半が草原。カスピ海周辺に石油・天然ガス、また全国土にウラン、鉄鉱石、銅など豊富な鉱物資源が埋蔵する。

（２）面積：272万4,900㎢（日本の7.2倍）

（３）人口：1,863.2万人（2019年末）

（４）首都：ヌルスルタン市（旧アスタナ）

（５）主要都市：アルマトィ（191.7万人）、ヌルスルタン（113.6万人）、シムケント（103.8万人）、アクトベ（50.1万人）、カラガンダ（49.8万人）など（2019年末）。

（出所）外務省ウェブサイトより

（５）民族：カザフ人（68.5%）、ロシア人（18.9%）、ウズベク人（3.3%）、ウイグル人（1.5%）、ウクライナ人（1.4%）など（2020年初）。カザフ人はもともとアジア系の遊牧民族。

（６）言語：国家言語はカザフ語（トルコ語系の言語）。ただし、ロシア語も憲法上の公式言語として広範に使用される。

（７）宗教：カザフ人、ウズベク人はイスラム教スンニ派（ただし、戒律は中東・湾岸に比べると厳しくはない）、ロシア人はキリスト教のロシア正教。

2．政治情勢

（１）独立

1991年12月　ソ連邦解体とともに独立。（それまではソ連邦を構成するカザフ・ソヴィエト社会主義共和国）

（２）大統領

K.トカエフ（TOKAYEV, Kasym-Zhomart Kemelevich）。1953年生れ（67歳）。前政権下で外相、副首相、首相等を歴任した重鎮で、前大統領に極めて忠実な人物として知られる。1919年３月のナザルバエフ大統領辞任表明の際、上院議長であったため憲法の規定により大統領に就任、同年６月の選挙によって大統領に選出される（得票率：70.76%）。

（参考）N.ナザルバエフ（NAZARBAYEV, Nursultan Abishevich）。1940年生れ（80歳）。1991年12月、国民の直接投票により初代大統領に選出。以降、2019年３月まで30年近くその座

にあったが、突然辞任を表明した。ただし、憲法および特別法により同氏には初代大統領として多くの終身特権が認められており、現状を事実上の院政とする見方もある。

３．経済状況

（１）経済水準

（イ）GDP（2019年）： 1,816.7億ドル。

（ロ）国民１人当たりGDP（2019年）：9,812.5ドル。

（ハ）1人あたり名目平均月額給与（2019年）：488ドル。

（２）主要産業・輸出品

（イ）主要産業：石油・金属、石炭等の地下資源採掘、鉄・非鉄金属産業、農業（穀物）。

（ロ）主要輸出品：原油、鉄・非鉄金属、穀物。

（３）経済指標（前年比増減率、％）

表１　カザフスタンの主要経済指標

（前年同期比実質増減率、％）

	2015	2016	2017	2018	2019	2020.9M
国内総生産（GDP）	1.2	1.1	4.1	4.1	4.5	▲1.8⋆
鉱工業生産	▲1.6	▲1.1	7.3	4.4	4.1	0.0
農林水産業生産	3.4	5.4	3.1	3,5	▲0.1	5.0
固定資本投資	3.7	2.0	5.8	17.5	8.8	▲4.9
商品小売販売高	▲2.5	2.0	2.7	5.7	5.9	▲6.8
インフレ率（消費者物価指数）	6.6	14.6	7.4	6.0	5.3	6.6

（注）⋆上半期

４．貿易・投資

（１）貿易

（イ）貿易額

輸出（2019年）：580億6,560万ドル。

輸入（2019年）：397億930万ドル。

（ロ）主要貿易国

輸出（2019年）：①イタリア(14.4%)、①中国(13.8%)、③ロシア(9.8%)。

輸入（2019年）：①ロシア(36.0%)、②中国(17.1%)、③韓国 (8.7%)。

（２）日本との関係

（イ）2018年度までの日本の対カザフスタン累計援助額は有償、無償、技術協力あわせ約1,149.9億円。2000年以降のカザフスタンの急速な経済成長を受け、過去10年は有償の大型案件はほとんどなくなっており、他の中央アジア諸国とは異なりドナーとしての日本の存在感は小さい。

カザフスタンの貿易に占める日本の比率は過去５年間、輸出入ともに総額の1～2%の間を推移、大きな変化はない。二国間の貿易は同国の独立以来、ほぼ一貫して日本の入超で、輸入はかつてその全量がフェロアロイ（合金鋼）であったが、近年、

原油が主要輸出品目に加わった。カスピ海沖の石油開発に日本企業が参加していることによるもので、中央アジア地域では珍しい大型直接投資案件となっている。

（ロ）日本との貿易

日本の輸出（2019年）：４億1,717万ドル。自動車（44.1%）、鋼管（27.3%）、鉱山・建設用機械（9.8%）。

日本の輸入（2019年）：10億4,261万ドル。原油及び粗油（50.6%）、合金鋼（46.8%）。

（ハ）二国間条約

2004年8月　日・カザフスタン技術協力協定署名（2005年6月発効）。

2008年12月　日・カザフスタン租税条約署名(2009年12月発効）。

2010年3月　日・カザフスタン原子力協定署名(2011年5月発効）。

2014年10月　日・カザフスタン投資協定署名(2015年10月発効）。

（二）在留邦人数（2019年10月現在）：171人。（外務省ウェブサイトより）

※数値の出所は特に断りのない限り、カザフスタン国家経済省統計委員会。